

Bridge^{vol.11}

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ 11号] 2015.7

Interview

「存在理由 -raison d'être-」のある
学科・学部・大学をめざして

金城学院大学副学長 藤原 雅憲 教授



名古屋大学文学部を卒業した後、23年間、同大学で日本語教育の教鞭を執っていましたが、50歳を目前にして「この大学での日本語教育に関して、自分の役目は一区切りついた」という思いを持ち始めました。その一方で、他の大学でももう一仕事してみたいという考えもありました。そんな時に、金城学院大学から日本語教育法の非常勤講師に招かれたのがきっかけです。非常勤講師として3年間勤めた後、専任教員への誘いがあつて金城学院大学へ赴任された経緯をお聞かせください。

金城学院大学に対する印象はいかがでしたか？

金城学院大学に対しては、名古屋大学に在職している時から良い印象を持っていました。東海エリアにおいて特色のある大学ですし、それはキリスト教がもたらすものなのか、長い歴史や伝統に裏打ちされたブランド力なのか、非常に興味深く感じたのです。名古屋大学と金城学院大学は学生間の交流も活発だったため、名大キャンパスで金城の学生を見かけることもたびたびありました。今思えば、ささやかな縁がこの頃から続いていたのかもしれません。

赴任後、実際に金城の学生と接して感じたことがふたつあります。ひとつは、礼儀正しさです。しっかりと挨拶をすることはもちろんのこと、建物を出入りする際には学生がドアを開けて待つてくれますし、ほとんどの学生が様々な場面において心遣いができる、礼儀正しくふるまうことができます。そしてもうひとつは、真面目で学習意欲が高い点です。たとえば前期の試験が終わった時、「バイトだ！ 旅行だ！」と気持ちは遊ぶことに向いているかと思いきや、「夏休みも授業を受けたい！」と切望する学生がいたり、向上心のある学生が多いことに感心させられました。

女性の社会進出が活発化する中、人間像を教えてください。

時代は男女共同参画社会の実現に向かっていますが、それは女性を優遇しようというのではありません。むしろそういう傾向が見られるのであれば、避けるべき

金城学院大学へ赴任された経緯をお聞かせください。

教育機関を取り巻く環境や、少子化をはじめとした社会構造の変化が激しさを増す中、「新しい時代にふさわしい教育改革」への取り組みが命題となっています。金城学院大学でもKMP21が2012年度より10年計画でスタートし、昨年に第一フェーズが終了。N1棟、N2棟および新礼拝堂を中心としたキャンパスの新たな姿とともに、学内にも変革が現れています。伝統を守りつつ進化を続ける金城学院大学。その存在理由とは何か。今年度から副学長に就任した藤原雅憲教授に話を伺いました。

*KMP21=「金城学院キャンスマスター・プラン」
教育環境(キャンパス)の整備を目的とした事業計画



藤原 雅憲 プロフィール

- ◆学位：文学士
- ◆専門分野：日本語教育、日本語学
- ◆所属学会：日本語教育学会、日本語学会、日本語用論学会

1976年名古屋大学文学部卒、1979年10月より名古屋大総合言語センターで日本語教育の教鞭を執る。同大学在職中の1983年、1986年に米国ミドルベリー大学の夏季日本語学校で指導を行う。2003年4月、金城学院大学文学部外国語コミュニケーション学科教授として着任。2003年7～9月、国際交流基金の日本研究専門家としてインドネシアの大学院で指導。2005年から4年間、本学国際交流センター長、2010年から4年間、本学文学部部長を務め、2015年4月に本学副学長に就任。

「女子大」という環境が育むものとはなにか

女子大ということについては何か関心をお持ちでしたか？

その点については、特に何もありませんでした。逆に、女子だけが集まる特異なものであるように見られることがおかしいのではないか？ という考えを持っています。男子校に比べて、女子校はなぜか注目されたり話題になったりと特別視されます。不思議なことですよね。ただし、大学の4年間はすべての行動を女性だけの社会性の中で進めていくことができるのです。性差が作り出したイメージにとらわれることなく、自由に思考・行動することでひとりの人間としての強みも弱みも一層露わになります。それらをしっかりと認識したうえで、自分の個性や能力を発揮していくのが、女子大の良さといえるのではないかでしょうか。



Interview 「存在理由 -raison d'être-」のある 学科・学部・大学をめざして

金城学院大学副学長 藤原 雅憲 教授

だと思います。男らしさ、女らしさといった性差に関係なく個人の能力や個性を公平に評価していくことが本来の目的ではないでしょうか。

私たち学生全員をリーダーに育てようというつもりはありません。リーダーの資質がある人もいれば、サポートに回るのが得意な人もいます。大切なのは、一人ひとりの能力や意思が発かされること。そのためには、まず、集団の中において自分の意見を持つているかどうかが重要となってきます。私が金城学院大学に来たばかりの頃、自分の考えを自分の言葉できちんと表現できる学生が非常に多いと感じました。女子だからこそ、そういうスキルが自然に身についていくのだと思います。

すべては学生のために

**教員の意識や行動には
どのような特徴がありますか？**

大学は「教育」と「研究」を両輪とした車に例えられます。そのどちらを重視するかは大学によって違います。「研究」重視の大学では、勉強の大半は学生の自主性にまかせ、研究室に質問に来られると煩わしいと感じる教員も少なくありません。

金城学院大学は、「大学がもともと担う教育という本分をまつとうする」ことをミッションとしています。社会に役立つ人材を育て輩出することが金城学院大学に対する

評価と信頼につながり、それこそが我々の存在理由であると考えています。そのため、学習内容や教育方法の改善に常に取り組んでいますが、教員一人ひとりの意識も高く、FD活動(Faculty Development)もとても活発です。改善の事例発表の場は真剣そのもの。教員たちは自分のスタイルに固執せず、他の教員の発想や方法に良いものがあれば参考にし、積極的に取り入れて実践しています。

3年前に、文学部日本語日本文化学科の小松史生子先生と外国语コミュニケーション学科の北原ルミ先生が、学科の垣根を越えて「金城シネマ」という授業を立ち上げました。名作映画を通じて、若者の生き方や世界観を学ぶのが狙いです。楽しくてわかりやすい授業を、という想いで自主的にスタートしましたが、今では正規の履修科目になりました。

こうした教員の発案による新しい授業科目や教育方法が誕生する背景には教員のアイデアやアクションを支持し、評価する土壤があるからです。学生の成長のために、大学とともに教員自身も成長し続ける必要があります。

**学生の視点で考える
教育改革の出発点といふことですね。**

学生によつて理解度に差があることは当然なのですが、教育者の多くはそのことを見落としてしまいます。「なぜ理解できないのか、それが理解できない」と、なりがちで、

置いてきぼりになつた学生は学習意欲を失つてしまつます。そこで学生と同じ目線になると、学生が超えられない壁をクリアできるよう導いていく。それが教育の第一歩だと考えます。学生ひとりでは気付かなかつたことに「気付く」ことで、達成感やよろこびが芽生え、自らの力で壁を越えようとするモチベーションが生まれます。それが成長へつながると信じています。今の金城生は、礼儀正しさや面白さといった優れた人間性を備えています。そこに自らの壁を突き破る力を身につけ、易きに流れようとする自分を叱咤しチャレンジする資質が備われば、「新しい時代にふさわしい人間」へと一生を通じて成長を続けていくことでしょう。



「すべては学生のために」をMissionに
大学の本分をまつとうする「教育」のVisionを示す。

最後に、保護者の方へのメッセージをお聞かせください。

一日に少なくとも1回はお子さまに声を掛けさせてください。「おはよう」「いらっしゃい」「お帰り」といった普通の挨拶でも構いません。18歳から22歳は多感な時ですから、鬱陶しいと思われることもあります。しかし、お子さまはまだ社会の一員として実感が持てず、現在や将来の自分に迷っています。どんなに強がりを言つても心の中で絶えず不安と危惧を持っています。声を掛けられたことは鮮明な記憶として、また、安心感と感謝の念を持つて意識にとどめられ、必ずお子さまの成長の大きな後押しとなります。ぜひ家庭で、お子さまとの対話を大切にしていただきたいと思います。



撮影場所:図書館

◆規模 / [閲覧棟]地上4階 [書庫棟]地上6階

◆所蔵数 / 図書約50万冊、雑誌約10,000タイトル、電子ジャーナル約2,500種、DVD約4,000本

◆主要施設 / ラウンジ・コピーカーナー・サービスカウンター・AVコーナー・読書コーナー・グループ学習コーナー・多目的室・グループ閲覧室

キャリア支援センターが行う 就職関連ガイダンス&セミナー 【2015年度】

キャリア・アップ講座

就活のためのスキルアップをサポートし、内定の近道へと導きます。多くの在学生が受講しており、高い評価をいただいております。



9月
募集

[申込期間] 9/28(月)~30(水)

公務員	公務員試験一般教養対策講座(応用コース)
教員	教員採用模擬試験(12月受験)
企業	コミュニケーション能力スキルアップ講座 就職試験論作文講座 [DVD&テキスト]SPI対策講座(秋期コース) SPI 3(筆記試験)対策講座 業界研究・職種研究講座 就職試験のための自己分析講座 履歴書の書き方、手紙のビジネスマナー講座 エントリーシート対策講座 グループディスカッション対策講座(11月コース) 面接対策講座(12月コース)
マナーおもてなし	美文字レッスン

12月
募集

[申込期間] 12/2(水)~4(金)

公務員	公務員試験一般教養対策講座(直前コース)
教員	教員採用試験対策講座(教養コース) 教員採用試験対策講座(小学校全科コース)
企業	[DVD&テキスト]SPI対策講座(冬期コース) グループディスカッション対策講座(2月コース) 面接対策講座(2月コース)
パソコン	MOS Word 2013スペシャリスト(春休みコース) MOS Excel 2013スペシャリスト(春休みコース)
マナーおもてなし	サービス介助士検定取得講座(春休みコース) 就活メイクと履歴書用写真撮影

新段階の
手話通訳者
養成にむけて

父母会海外・国内研修助成費を得て、2014年4月～9月の半年間、手話や手話通訳についての研究を総合的に行う「社会福祉法人全国手話研修センター・日本手話研究所」(京都市右京区)に通わせていただきました。

私の研究テーマは、専門職である手話通訳者の養成方法です。現在、全国で5,000人ほどの手話通訳者が活躍していますが、手話通訳者の人材養成・教育、資格については、十分確立しているとは言えません。厚生労働省通知の「手話通訳者養成カリキュラム」や、厚生労働大臣公認の「手話通訳士資格」があり、どちらも制度ができてから20数年を経過していますが、大学・大学院で専門職を養成する仕組みにはなっていません。また資格についても、国家資格ではなく厚生労働大臣公認資格にとどまっており、私の研究課題は、国家資格としてふさわしい大学・大学院における人材養成のシステム(法制度・事業)作り、そして教育のためのカリキュラムや教材・テキスト作りとなっています。

今回の助成費を受けて、①「手話通訳士養成のためのテキスト(仮)」、②「手話通訳者養成テキストの副教材」、③「手話・手話通訳指導等の講師派遣システム」の作成

を、並行して進めました。

①は、今後単著として出版予定ですが、手話通訳者に必要な知識と技術を1冊の本にコンパクトにまとめ、手話通訳を学ぶ人や手話通訳に従事する人のハンドブックとなればと考えています。②では、厚生労働省通知の「手話通訳者養成カリキュラム」を、養成講座の現場でより効率よく使用するため、実技編、講義編を合わせて10数種類の副教材を作成しました。③では、全国各地から寄せられる全国手話研修センターへの講師派遣依頼に対応するシステムを、センター職員と協働して作成しました。

上の①②③は、全国手話研修センターが中心となり、2016年度以降、全国各地で活用予定です。また「大学・大学院での人材育成」という課題については、2014年度後半に参加した厚生労働省障害者福祉推進事業で、教育カリキュラム作りに取り組みましたが、実現には数年の年月がかかりそうです。

今回の研究の成果が、少しでも日本の手話通訳事業の前進に寄与できたら、望外の喜びです。このような研究機会をいただいた父母会に、心から感謝申し上げます。



人間科学部
林智樹教授

◆専門分野:
障害者福祉論・手話通訳論

第4回 就職ガイダンス※	9/21(月)、22(火)、24(木)、25(金)
求職登録カード・自己分析シートの提出	10/1(木)～16(金)(土日を除く)
SPI模試	10/5(月)～9(金)
第5回 就職ガイダンス※	10/5(月)、6(火)、7(水)、8(木)
Web筆記試験対策講座【基礎編②・③】	10/15(木)、16(金)
SPI講座	10/22(木)
OG懇談会	10/22(木)
第2回 公務員・教員 就職ガイダンス	10/23(金)
ご父母向け『就職説明会』	10/24(土)
第6回 就職ガイダンス※	10/26(月)、27(火)、28(水)、29(木)
第1回 日本経済新聞活用講座	10/30(金)
第2回 日本経済新聞活用講座	11/4(水)
体育系クラブ・サークル対象就職ガイダンス	11/10(火)
総合職希望者対象ガイダンス	11/11(水)
Web筆記試験対策講座【応用編①・②】	11/11(水)、12(木)
第7回 就職ガイダンス※	11/16(月)、17(火)、18(水)、19(木)
第8回 就職ガイダンス※	12/1(火)、2(水)、3(木)、4(金)
1DAY就活全部体験講座	12/5(土)
グループ別ガイダンスvol.1	12/7(月)～18(金)(土日を除く)
OG懇談会	12/19(土)
内定者報告会&就職ガイダンス	12月頃
非言語講座	2/8(月)、9(火)
第9回 就職ガイダンス	2/16(火)、17(水)、18(木)、19(金)
就活サポートOG懇談会	2/20(土)
社労士に聞く給与明細の仕組み	2/23(火)
グループ別ガイダンスvol.2	2月下旬～6月下旬(随時開催)
第1回 幼保小 就職ガイダンス	3月上旬
就活キックオフセミナー	3/15(火)
学内企業セミナー	3/15(火)～17(木)、22(火)～25(金)
管理栄養士企業セミナー	2016年4月中旬
第2回 幼保小 就職ガイダンス	2016年5月中旬
教員採用試験説明会	2016年5月中旬
保育士就職対策模擬試験	2016年5月中旬
今こそ受けける集団模擬面接!	2016年7月頃
公務員・教員試験直前面接練習	2016年8月頃

3年生対象
(薬学部を除く)

薬学部
5年生対象

▶ 2014年度決算について

すべての事業につきまして、予算内で実行することができました。卒業年次生への就職支援及び1・2年生の学習意欲を啓発させるための助成や、学生が学習成果を公表するための助成はじめ、大学生活を充実させるための様々な助成を行いました。

▶ 2015年度予算について

今年度もキャリア支援の充実を引き続き行ってまいります。その他は、地区別懇談会参加者の増加にともない地区別懇談会費を増額すること、また、ゼミ旅行引率教員の交通費を支出する学生指導助成費を減額し、学生活動に必要な費用への助成を増額することが承認されました。

収入の部	◎2014年度収支決算			◎2015年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2015年予算額	2014年予算額	増減
前年度繰越金	29,900,919	29,900,919	0	22,881,945	29,900,919	△ 7,018,974
入会金	7,000円	8,687,000	0	8,631,000	8,687,000	△ 56,000
会費	12,000円	62,796,000	△ 1,560,000	64,392,000	64,356,000	36,000
雑収入	預金利息	16,235	100,000	△ 83,765	100,000	100,000
学生施設建設助成積立金取崩収入	19,000,000	19,000,000	0	—	19,000,000	△ 19,000,000
合計	120,400,154	122,043,919	△ 1,643,765	96,004,945	122,043,919	△ 26,038,974

支出の部						
	決算額	予算額	増減	2015年予算額	2014年予算額	増減
学生教育助成費	4,367,400	4,697,400	△ 330,000	4,660,000	4,697,400	△ 37,400
学生キャリア教育助成費	14,730,000	14,730,000	0	14,427,520	14,730,000	△ 302,480
学生活動助成費	10,259,102	11,128,200	△ 869,098	11,669,000	11,128,200	540,800
学生指導助成費	1,998,433	3,217,800	△ 1,219,367	2,683,000	3,217,800	△ 534,800
教育研究助成費	12,228,831	12,379,000	△ 150,169	12,251,000	12,379,000	△ 128,000
教員研修助成費	3,780,716	4,940,660	△ 1,159,944	3,950,000	4,940,660	△ 990,660
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	3,332,585	3,500,000	△ 167,415	4,000,000	3,500,000	500,000
卒業記念事業費	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	6,950,734	8,900,000	△ 1,949,266	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成費	24,000,000	24,000,000	0	—	24,000,000	△ 24,000,000
学生施設建設助成積立金	—	—	—	5,000,000	0	5,000,000
周年事業積立金	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
雑費	270,408	1,000,000	△ 729,592	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	17,950,859	△ 17,950,859	11,864,425	17,950,859	△ 6,086,434
次年度繰越金	22,881,945	—	22,881,945	—	—	—
合計	120,400,154	122,043,919	△ 1,643,765	96,004,945	122,043,919	△ 26,038,974

特別会計の部			
	組入額		
周年事業積立金	21,000,000		
学生施設建設助成積立金	0		

例年どおり4会場で開催する予定です。開催日程は以下の通りです。大学の現状や当該地域における就職状況説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談などを個別に受け付けます。各地区の方々には、別途ご案内をお送りしておりますので、お申込のうえご出席ください。

金沢	四日市	浜松	岐阜
8月22日(土) 13:30～16:00 金沢都ホテル	8月29日(土) 13:30～16:00 四日市都ホテル	9月5日(土) 13:30～16:00 グランドホテル浜松	9月12日(土) 13:30～16:00 岐阜グランドホテル

総会報告

去る2015年6月3日(水)大学にて父母会総会が開催され、2014年度の事業報告・決算、2015年度の事業計画・予算などが承認されました。

	◎2014年度事業報告			◎2015年度事業計画		
	2014年4月1日(火)			2015年4月1日(水)		
入学式後の 父母対象大学説明会	入学式後を利用して、入学生の父母を対象に右記の内容について説明を行った。	①キリスト教教育について ②学生生活について ③教務上の諸事項について ④キャリアアップ講座について ⑤大学父母会の活動の協力について	入学式後を利用して、入学生の父母を対象に右記の内容について説明を行った。	①キリスト教教育について ②学生生活について ③教務上の諸事項について ④キャリアアップ講座について ⑤大学父母会の活動の協力について	2014年4月1日(火)	2015年4月1日(水)
役員会	●役員会	総会審議事項の確認 ①2013年度事業報告 ②2013年度会計報告 ③2014年度役員・委員候補者 ④2014年度事業計画 ⑤2014年度予算 教育懇談	●役員会	総会審議事項の確認 ①2014年度事業報告 ②2014年度会計報告 ③2015年度役員・委員候補者 ④2015年度事業計画 ⑤2015年度予算 教育懇談	2014年5月27日(火)	2015年5月22日(金)
総会	●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	●新旧役員及び大学役職者の歓送迎会	2014年6月4日(水)	2015年6月3日(水)
地区別懇談会	●総会	①2013年度事業報告 ②2013年度会計報告 ③2014年度役員・委員候補者 ④2014年度事業計画 ⑤2014年度予算	●全体説明会	①大学の現状報告 ②就職状況について	●総会	①2014年度事業報告 ②2014年度会計報告 ③2015年度役員・委員候補者 ④2015年度事業計画 ⑤2015年度予算
委員との懇談会	●講演会	演題:モーツアルト／アンダンテKV315 ジューナン／ヴェニスの謝肉祭　他のフルート演奏 講師:文学部音楽芸術学科准教授 磯貝 俊幸氏	●学科別懇談会	学科ごとに教員との懇談	●講演会	演題:子どもの心の発達とミラーニューロン 講師:学院長 戸苅 創氏
定期懇談会	●大学の教育方針・近況等説明 ●学生生活上の説明 ●個別懇談(成績関係、就職関係、その他)	●大学の教育方針・近況等説明 ●学生生活上の説明 ●個別懇談(成績関係、就職関係、その他)	●大学の教育方針・近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	●大学の教育方針・近況等説明 ●学生生活上の説明 ●個別懇談(成績関係、就職関係、その他)	2014年10月10日(金)	2015年10月9日(金)
役員会	●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	●父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会	2014年12月5日(金)	2015年12月4日(金)
役員会	●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	●大学の近況報告 ●父母会活動報告 ●教育懇談	2015年2月12日(木)	2016年2月12日(金)
役員会	●次年度日程について	●次年度日程について	●次年度日程について	●次年度日程について	2015年3月18日(水)	2016年3月18日(金)

MESSAGE

ごあいさつ

金城学院大学父母会 会長
社本 光永

今年度も引き続き父母会会長を務めさせていただきます社本と申します。

会員皆様におかれましては、いよいよ清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。会員の皆様と父母会とを結ぶ架け橋となります「Bridge」第11号をお届けいたします。

6月3日に開催されました総会には、お忙しい中多数の方々にご出席をいただき誠にありがとうございました。皆様のご協力によりまして、別貢に掲載しております議案につきまして、すべて原案通り承認いただきました。総会後には大学全体説明会、戸苅創学院長による講演会そして学科別懇談会を行い、すべてのプログラムが実りあるものでありましたことを大変喜んでおります。ご協力いただきました教職員の皆様にも心よりお礼を申し上げます。

現在、大学において「KMP21(金城学院キャンパスマスターplan)」が進行しており、2014年4月より新礼拝堂であるエラ・ヒューストン記念礼拝堂とN2棟の使用を開始し、6月中旬からは、講義室の他に学生食堂や売店、学生のロッカールーム、ラーニングコモンズ、スタジオ、音楽ホールなどを設置したN1棟の使用が始まりました。現在建設中のW3棟には調理学実習室、ファッショントピカル実習室、設計製図室や学生食堂を設置し、学生たちが生き生きとしたキャンパスライフを送るための大学施設がさらに充実してまいります。W3棟は来年度使用開始の予定です。

最後になりましたが、今後も父母会へのご支援を賜りますようお願いするとともに、会員皆様のなお一層のご健勝を心からお祈り申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

金城学院大学 学長
奥村 隆平

父母会の皆様には、学生に対する奨学金や課外活動への助成金をはじめ、本学の教育や研究に対し多大のご支援をいただき、心から感謝いたします。更には、2014年度父母会卒業記念品として、センターコートにベンチを、そしてN1棟にはテーブルと椅子のセットをご寄付いただき、キャンパスの美化に役立てることができました。そのベンチや椅子で学生たちが団欒するところを見かけます。今後も、「KMP21(金城学院キャンパスマスターplan)」に基づき一層の整備を続けてまいります。

今後の大学の運営方針といしましては、学生諸君の入学から卒業まで丁寧に指導していきたいと思っています。また、学生諸君には金城学院大学で学んだことを大切にし、就職面や資格取得面で怠りないようにしつつ、女性としての社会貢献はいかにあるべきかを常に考えていただきたいと思っています。

私は金城学院大学の大切な特色は、「福音主義キリスト教に基づく女子教育」と「森の中のキャンパス」であると考えています。第一の点について言えば、今後、

世の中は少子高齢化でますます労働力が不足し、今以上に女性の社会進出が期待されるようになります。リーダーシップを発揮できる女性がさらに必要とされる時代になります。金城学院大学の教育スローガンは「強く、優しく。」ですが、広い教養、高い専門的知識、あるいは的確な技能など社会で生きる上での強みを持ちながら、隣人に対して愛をもって接することのできる優しさを身につけた女性を育成したいと思っています。

本学のもう一つの特色は、緑に包まれた「森の中のキャンパス」であるということです。キャンパス内に里山がある環境で学ぶことによって、自然との共生や自然環境の保護に目が向けられていくことでしょう。日本と世界の未来を考えるとき環境問題について無関心ではいられません。この意味で本学は学びの場として理想的な環境を提供しているのです。

金城学院大学は、これまでキリスト教精神に基づく女性のための理想的な教育を追及してまいりました。これからもその歩みを続けてまいります。

CAMPUS TOPICS | 校内ニュース



卒業記念品としてベンチとテーブルセットを寄贈

2014年度父母会卒業記念品として、センターコートにベンチを12台、そしてテーブルと椅子のセットをN1棟1階テラスに7セット、3階テラスに2セット寄贈いたしました。学生が休憩したり、友人と語り合う場として利用されています。